



令和 2 年 4 月 2 8 日
都市整備局地域まちづくり課

「ヨコハマ市民まち普請事業」令和2年度整備提案募集スケジュールの延期について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020（令和2）年4月1日に開始した「ヨコハマ市民まち普請事業」の令和2年度整備提案募集スケジュールを延期します。

なお、今後の状況によっては、募集中止とする場合もあること、ご了承ください。応募検討にあたっては、感染拡大防止の取組を徹底いただきますよう、お願いいたします。

1. まち普請事業への募集期間の延長

当初 2020（令和2）年4月1日（水）～ 6月3日（水）

延期後 2020（令和2）年4月1日（水）～ 9月2日（水）

2. 一次コンテスト、二次コンテストの延期

（1）一次コンテストの開催時期

当初 2020（令和2）年7月11日（土）

延期後 2020（令和2）年10月上旬（予定）

（2）二次コンテストの開催時期

当初 2021（令和3）年1月31日（日）

延期後 2021（令和3）年3月上旬（予定）

※スケジュールが変更となる場合がございます。変更については、HPでご確認ください。

まち普請事業の応募・実施に関しては、まずは下記の担当連絡先の電話・メールにお願いします。

【担当連絡先】

都市整備局地域まちづくり課

電話番号：045-671-2679 E-mail：tb-seibiteian@city.yokohama.jp

URL：<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/suishin/machibushin/machibusin.html>

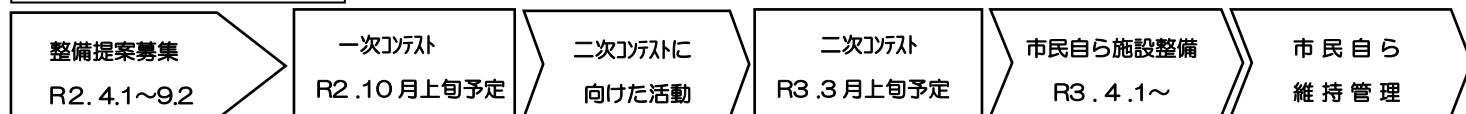


まち普請HP QRコード

当初スケジュール



延期後スケジュール



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長

萩原 慶一

Tel 045-671-2665

ヨコハマ市民まち普請事業 一次コンテストをYouTubeによるLIVE配信！

ヨコハマ市民まち普請事業一次コンテストをLIVE配信

まちづくりへの強い思いを持ったグループによる整備提案のプレゼンテーション、審査員との白熱した質疑応答、そして緊張感あふれる結果発表まで、YouTubeでLIVE配信します。臨場感あふれる会場の様子を是非ご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、一般の方はコンテスト会場に入場できません。

ヨコハマ市民まち普請事業とは

市民の皆様から地域の課題解決や魅力向上のための施設整備に関する提案を募集し、二段階の公開コンテストで選考された提案に対し、最大500万円の整備助成金を交付するなど、市民の皆様が主体となったまちづくりを支援する横浜市独自の事業です。

今年度はコロナ禍で地域活動が難しいなか、**11** グループから提案がありました。一次コンテストでは、その中から二次コンテストの対象となる提案を、**創意工夫・意欲・公共性** の3つの審査基準において公開で選考します。

LIVE配信の視聴方法

ヨコハマ市民まち普請事業ホームページにおいて視聴方法をご覧ください。
詳細はイベント情報ページよりご確認ください。

【放送予定時間】

令和2年10月10日(土) 12:30~18:00

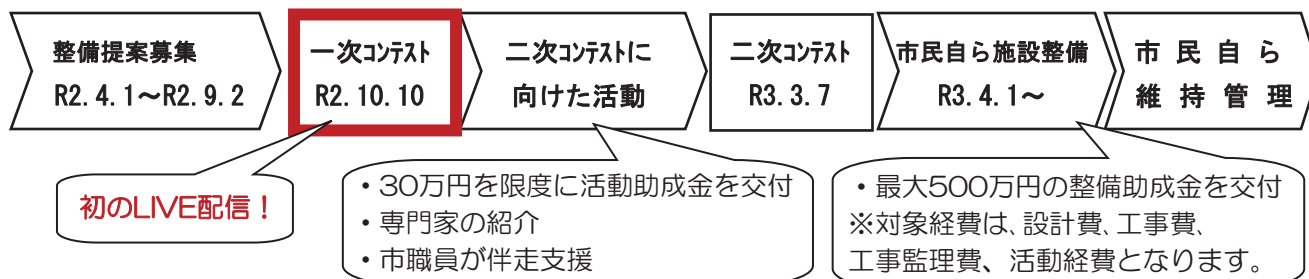
YouTubeチャンネル「ヨコハマ市民まち普請事業」にて放送



イベント情報ページ二次元コード

事業の流れ（予定）

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、事業スケジュールを延期しています。



裏面あり

一次コンテスト概要

- 開催日時 令和2年10月10日（土） 12：30～18：00（予定）
- 公開方法 横浜市庁舎18階会議室よりYouTubeによるライブ配信

3 プログラム（予定）

- 12：30 開 会
まちづくり提案の発表
公開質疑・選考
- 18：00 閉会



【昨年度の一次コンテストの様子】

- 主 催 横浜市・横浜市住宅供給公社・認定NPO法人市民セクターよこはま
※本事業は、横浜市市民協働条例に基づく市民協働事業として運営しています。

令和2年度整備提案一覧

一次コンテストにおいて、以下の提案の中から二次コンテストに進む提案を選考します。

発表順	区名	提案グループ名	整備提案名
1	青葉	寺家古民家ラボ	古民家と里山で農を通じて多様・多世代が繋がる場創り
2	緑	Co-coya復活プロジェクト実行委員会	「水」と「火」のある地域のほっとステーション
3	旭	里山再生よこはま森のアトリエ	樹木医と目指す、荒れた里山を整備・活用して次世代へ
4	神奈川	空き家を活用して子安台と新子安に交流拠点をつくる会	子安台の空き家を活用した交流拠点づくり
5	鶴見	岸谷第二自治会	岸谷第二自治会防災まちづくり・防災井戸整備
6	戸塚	ぐるーぷ・ちえのわ事業検討委員会	車椅子でも OK！だれでも集える多目的交流スペース
7	保土ケ谷	Code for Hodogaya	ビオガーデン防災機能及びパーゴラ・プロジェクト
8	旭	左近山魅力発信委員会	左近山魅力発信スタジオ
9	港南	+α（プラス アルファ）	スマホで繋ぐwithコロナ時代の虹色ステーション
10	金沢	地域応援ボランティアグループ リトルハウスの会	誰もが元気に暮らすための多世代交流サロン
11	神奈川	いろいろな人の居場所をつくる会	多世代交流ひろば

※取材をご希望の方は、10月9日（金）12時までに下記連絡先へお問い合わせください。

お問合せ先		
都市整備局地域まちづくり課担当課長	萩原 慶一	Tel 045-671-2665

ヨコハマ市民まち普請事業 一次コンテストで6提案を選考！



令和2年10月10日（土）にヨコハマ市民まち普請事業令和2年度一次コンテストを開催し、8名の審査員による公開投票の結果、11グループの整備提案から二次コンテストへと進む6提案が選考されました！

令和3年3月7日（日）開催予定の二次コンテストに向けて、グループごとに実現性や地域まちづくりへの発展性が高まるよう提案内容を検討し、磨き上げていきます。

選考された整備提案＜グループ＞

古民家と里山で農を通じて多様・多世代が繋がる場創り(青葉区)＜寺家古民家ラボ＞

古民家のキッチンやトイレ等を整備し、隣接する里山の保全とあわせて地域連携拠点を整備

「水」と「火」のある地域のほっとステーション(緑区)＜Co-coya復活プロジェクト実行委員会＞

既存井戸の再生や薪風呂等を設置し、昭和の文化住宅の1階を交流の場として整備

樹木医と目指す、荒れた里山を整備・活用して次世代へ(旭区)＜里山再生よこはま森のアトリエ＞

荒れた山林や農地を保全し、森づくりに関する学びの場やコミュニティの場として整備

子安台の空き家を活用した交流拠点づくり(神奈川区)＜空き家を活用して子安台と新子安に交流拠点を つくる会＞

空き家を改修し、サロンやイベントを行う多世代交流拠点を整備

車椅子でもOK！だれでも集える多目的交流スペース(戸塚区)＜ぐるーぷ・ちえのわ事業検討委員会＞

空き家をバリアフリー化し、既存施設と連携して車椅子でも利用できる交流拠点を整備

スマホで繋ぐwithコロナ時代の虹色ステーション(港南区)＜+α(プラス アルファ)＞

スマホアプリを活用しながら、コロナ禍でも活動できる地域の情報発信拠点を整備

コンテスト初のYouTubeでLIVE配信！

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、ヨコハマ市民まち普請事業の公開コンテスト初となるLIVE配信を行い、まちづくりに興味のある多くの方に視聴いただきました。

ヨコハマ市民まち普請事業とは・・・

市民の皆さまから地域の課題解決や魅力向上のための施設整備に関する提案を募集し、二段階の公開コンテストで選考された提案に対し、最大500万円の整備助成金を交付するなど、市民の皆さまが主体となったまちづくりを支援する横浜市独自の事業です。

■提案グループのプレゼンテーション



■情報収集タイム



■審査員との質疑応答



お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長

萩原 慶一

Tel 045-671-2665

コミュニティカフェ「さくら茶屋にししば」が 10 周年。 これまでの取り組みを「物語」にして出版します！ ～クラウドファンディングによる資金調達を実施します。～

「ヨコハマ市民まち普請事業」を活用して、平成 22 年にオープンしたコミュニティカフェ「さくら茶屋にししば」（金沢区西柴三丁目）が、今年で 10 周年を迎えました。

これを記念して、「NPO 法人さくら茶屋にししば」が、これまでの取組を「さくら茶屋物語」として本にして、蓄積してきた「住民同士のつながり作り」のノウハウを多くの方々に届けるため、資金調達を開始します。

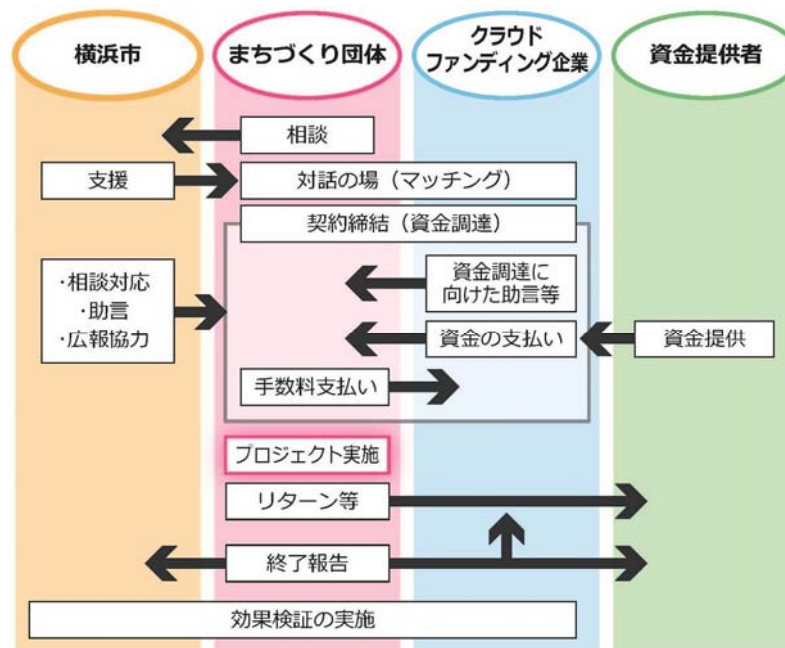
本の出版に必要な資金は、本市と協定を締結しているクラウドファンディング企業の資金調達プロジェクトにより確保を目指します。

◇ クラウドファンディングによる資金調達プロジェクト概要

まち普請事業整備団体	クラウドファンディング企業
NPO 法人 さくら茶屋にししば	株式会社朝日新聞社 
「街の元気」は居場所が作る。コミュニティカフェの 10 年を本にして届けたい！ 私たちが初めてさくら茶屋にししばを立ち上げたのは、少子高齢化が進む西柴団地のショッピングセンターの一角。有志の主婦 10 人が寄り集まって、手探りでスタートでした。 「できるわけがない」「すぐにつぶれる」そんな声があふれていました。私たちの思いを実現するには、想像以上のハードルがありました。 それでも、私たちにとって挑戦だった「さくら茶屋にししば」は、この 10 年間で街に様々な変化をもたらしていたのだと、実感しております。来店者もスタッフも楽しめるコミュニティカフェとして、今では住民の憩いの場となっています。 街を豊かにするために必要な「居場所」の形は、地域ごとに異なります。だからこそ「ポストの数ほどコミュニティカフェ」が必要であり、あなたの街に適したプログラムのヒントを導き出すために、私たちのノウハウを活用していただきたいと思います。 「さくら茶屋物語」を出版し、全国の「つながる居場所」があったらいいなと思っている方々にお届けします！ ■プロジェクトHP https://a-port.asahi.com/projects/sakurachaya/ ■支援募集期間 令和 2 年 10 月 12 日（月） ～令和 3 年 1 月 12 日（火） ■さくら茶屋にししば 住所：金沢区西柴三丁目 17-6 HP：http://sakurachaya.moo.jp/    さくら茶屋にししば  店内でティータイム	

【参考】地域まちづくり活動を対象としたクラウドファンディング活用支援事業の概要

- (1) 支援対象団体：横浜市民まち普請事業２次コンテスト通過団体
地域まちづくり組織、エリアマネジメント組織（本市との協定締結組織）
- (2) 試行期間：平成 31 年 2 月～令和 3 年 3 月 31 日
- (3) 支援対象団体への主な支援内容
 - ・横浜市は、協定を締結しているクラウドファンディング企業とのマッチングの機会を提供
 - ・クラウドファンディング企業は、資金調達成功に向け、対象団体と共に検討・指導助言の実施
- (4) 支援の流れ



(注意事項)

- クラウドファンディングによる資金調達及び提供は、当事者間の判断と責任において実施するものです。横浜市は、各プロジェクトの進捗や成果、調達資金の使途に関しての責は負いません。
- 各プロジェクトに提供いただいた資金の一部は、クラウドファンディング企業への手数料へ充てられます。

お問合せ先	
都市整備局地域まちづくり課	担当課長 萩原 慶一 Tel 045-671-2665